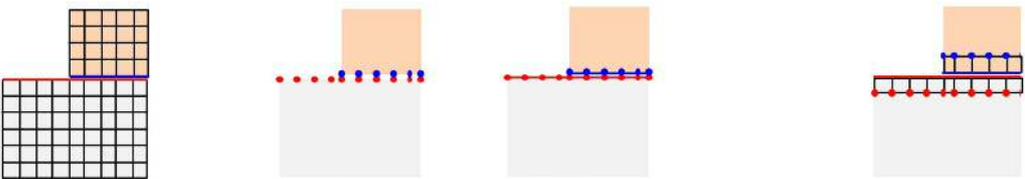


重点研究プロジェクト（Ⅱ期）知財公開用情報

<p>発明の名称</p>	<p>接触問題の解析に用いる部材モデルの生成装置および生成方法</p>
<p>登録(出願)日 登録(出願)番号</p>	<p>平成 29 年 11 月 13 日 特願 2017-218421</p>
<p>要約</p>	<p>【課題】 一般機械の構造解析を行う上で、各部材間の接触は重要な要素である。ただし、接触問題は繰り返し計算が必要となるため、大規模な問題を解析対象とする場合、膨大な計算時間が必要となる。このため、接触問題の解析時間の短縮は多くの機械分野の開発者にとって重大な課題である。</p> <p>【解決手段】 部分構造法を活用し線形部分を予め算出することで、大規模接触問題の規模を大幅削減することで、解析時間の大幅削減を実現する。</p>
<p>特徴／ セールスポイント</p>	<p>大規模な機械構造に対する接触問題の解析は、膨大な計算時間を必要とするため、現実的な時間で計算できない場合もあった。これに対し、本出願手法は部分構造法を活用することで、規模の大幅削減を実現し、現実的な解析時間での求解を可能とする。なお、接触面を構成する要素は保持することで、部分構造法機能を有している汎用有限要素法ソフトさえ有していれば、容易に本手法を活用することができる点も特徴の一つである。</p>
<p>主な応用分野</p>	<p>自動車、工作機械を始めとする機械構造全般の構造解析に適用できる技術である。特に、部材間の接触剛性や摩擦減衰が支配的な問題において有効な手法であるといえる。</p>
<p>開発状況</p>	<p>開発は既に完了している。 ただし、使用ソフト毎に設定方法が異なるため、対象ソフト用の組換えが必要となる。</p>
<p>参考する写真等</p>	 <p>一般的な解析手法 先行出願[*]による解析手法 発明手法による解析手法</p> <p>※特開 2016-90324</p>
<p>権利(出願)機関</p>	<p>国立大学法人金沢大学 国立大学法人名古屋大学</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>機関名: 有限会社 金沢大学ティ・エル・オー 担当者名: 山田 光俊 電話: 076-264-6115 e-mail : info@kutlo.co.jp</p>